

護度5の高齢者にしか郵便による投票が認められていないのが現状です。いわば病気の方やけがの方、歩きにくい方などは、投票権があっても投票所まで行くことが難しいため、投票権がないに等しく、たとえば県知事選などの重要な選挙にも参加する権利もない状態です。また、私たちが一票を投じた国会議員の投票で、内閣総理大臣が選ばれることも事実です。

しかし、2013年の6月の一般質問の答弁では、ずいぶん柔らかくなってきたなという印象です。

参政権の有する方であれば、間接的ではありますが、誰しものが総理大臣になるべき国会議員を選ぶ権利があるのは当然のことだと思います。



千一が本を出しました！！

「じろじろ見てよ」 ～重度脳性マヒのぼくが 議員になって～

か が おと ひこ
加賀 乙彦氏
推薦

みなさん、笑いながら
読んで下さい！

希望者には、
朗読CDもあります。

定価 [本体 1,680円]

いそっぷ社



私も応援します！！

- ◇ 中田 光彦
社会福祉士、介護福祉士、「千一と介護・福祉・バリアフリーを考える会」代表委員の一人
- ◇ 宇野 峰雪
弁護士、元横浜弁護士会副会長、神大OB、「千一と介護・福祉・バリアフリーを考える会」代表委員の一人
- ◇ 海老名健太郎
松下政経塾第22期生、「千一と介護・福祉・バリアフリーを考える会」代表委員の一人
- ◇ 小木 和孝
医学博士、財団法人労働科学研究所・元ILO労働条件環境局長、「千一と介護・福祉・バリアフリーを考える会」代表委員の一人
- ◇ 小木 節子
鎌倉バリアフリー研究会 会員、「千一と介護・福祉・バリアフリーを考える会」代表委員の一人
- ◇ 山口 道孝
東ティモール医療友の会・副運営委員長、「千一と介護・福祉・バリアフリーを考える会」会員